

# 社会・労働関係文献月録

2016.7.1～7.31 登録分

- ・分類表は2015年9・10月号(683・684号)に掲載されています。
- ・掲載文献は当研究所で閲覧・複写(セルフコピー10円/1枚)できます。
- ・来館せずに掲載文献の閲覧を希望する場合(依頼コピー)は、複写料金(依頼コピー40円/1枚)と送料実費で承ります。詳しくはお問い合わせください。
- ・本誌の定期購読者には、掲載文献の依頼コピー料金の割引(10円/1枚)がありますので、お申し出ください。

法政大学大原社会問題研究所編

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

tel: 042-783-2305 fax: 042-783-2311

e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

文献資料名 \*書名 編著者名等 収録誌名 発行所 巻号 発行年月

## I 理論・一般

0. 総記				
社会諸科学から社会科学へ	柴垣和夫	武蔵大学論集(武蔵大)	63-2・3・4	2016.1
日本における少子化問題と移民受け入れの可能性	木下富夫	武蔵大学論集(武蔵大)	63-2・3・4	2016.1
特集 統計は役に立つ——その2		統計	67-2	2016.2
浮世絵の統計分析	村上征勝			
統計学的マーケティングとは何か?	佐藤忠彦			
保険・年金分野における統計の活用	杉田健			
金融政策運営における統計利用とその留意点	中村康治, 肥後雅博			
公的統計は役に立つし、使いやすい	會田雅人			
*共生を哲学する	柿木伸之著	ひろしま女性学研究所		2010.4
*大竹から戦争が見える	阪上史子	ひろしま女性学研究所		2016.2
*“平和構築”ってなんですか?	東琢磨, 高雄きくえ編	ひろしま女性学研究所		2009.7
*「大震災」とわたし	高雄きくえ編	ひろしま女性学研究所		2012.1
*わし, 教員だわ	岡崎勝著	家族社		1996.1
*フードジョッキー	行友太郎, 東琢磨著	ひろしま女性学研究所		2009.8
*広島現在の現在と〈抵抗としての文化〉	柿木伸之編	ひろしま女性学研究所		2011.7
*アメリカ, オキナワ, ヒロシマ	柿木伸之編	ひろしま女性学研究所		2010.11
*釜ヶ崎から	生田武志著	筑摩書房		2016.1
*ルポ母子避難	吉田千亜著	岩波書店		2016.2
*言葉から文化を読む	西尾哲夫著	臨川書店		2015.8
*拉致被害者たちを見殺しにした安倍晋三と冷血な面々	蓮池透著	講談社		2016.3

* 砂川判決と戦争法案	砂川判決の悪用を許さない会編	旬報社		2015.9
* 縮小都市の政治学	加茂利男, 徳久恭子編	岩波書店		2016.1
* 市民運動の記録と記憶	『社会文化研究』編集委員会編	社会文化学会		2016.1
* 現代社会理論の変貌	日暮雅夫, 尾場瀬一郎, 市井吉興編著	ミネルヴァ書房		2016.1
* トランスナショナルリズムと社会のイノベーション	西原和久著	東信堂		2016.2
* 21世紀の消費	間々田孝夫著	ミネルヴァ書房		2016.2
* とにかく元気な開成町のまちづくり	高木俊之編著			2016.3
* 市民自治に生きて	石平春彦著	公人の友社		2015.11
<b>1. ジェンダー・フェミニズム・女性論</b>				
特集 2016 国際女性デー				
21年間の悲願達成, 全員正社員に	内田妙子	婦人通信	686	2016.2・3
決して泣き寝入りしない	中嶋祥子			
パート職の生活・職場・要求	渡辺利賀			
生活困窮者への仕事保障を	赤瀬重則			
「まずは、ごはん!」でつながる	徳丸ゆき子			
選択的夫婦別姓	折井純			
女性差別撤廃条約批准30年	山下泰子			
* フェミニズムから見たヒロシマ	上野千鶴子著	家族社		2002.9
* 広島で性暴力を考える	東琢磨編	ひろしま女性学研究所		2009.2
* 言葉が生まれる, 言葉を生む	ひろしま女性学研究所編集	ひろしま女性学研究所		2013.7
* 高齢者とジェンダー	春日キスヨ著	ひろしま女性学研究所		2009.2
* お気楽フェミニストは大忙し	駒尺喜美, 中村隆子著	家族社		2003.2
* CR (意識覚醒) グループ 第2版	田上時子著	家族社		2004.7
* 思考するヒロシマへ	高雄きくえ編	ひろしま女性学研究所		2011.6
* なぜ防げない? スクール・セクシュアル・ハラスメント	徳永恭子著	ひろしま女性学研究所		2012.7
* 「野溝七生子」を散歩する	青木和子著	ひろしま女性学研究所		2014.12
* 〈魔女〉が読む源氏物語	駒尺喜美著	家族社		2005.2
* ジェンダーのアート散歩	いさじ章子著	ひろしま女性学研究所		2005.9
* アジアで女性として生きるということ	ビョン・ヨンジュ	家族社		2003.1
* アクティブラーニングで学ぶジェンダー	青野篤子編著	ミネルヴァ書房		2016.3
<b>3. 労使(資)関係論</b>				
特集 労使コミュニケーション				
日本の労使交渉・労使協議の仕組みの形成・変遷, そして課題	久本憲夫	日本労働研究雑誌	661	2015.8
日本における集団的労働条件設定システムの形成と展開	荒木尚志			
経営協議会指針の意義と示唆	禹宗杭			
フランスにおける労使対話促進の法政策の展開と現状	細川良			

<b>8. 社会福祉論</b>				
特集 格差研究の展望——所得／住宅と健康／格差・貧困感				
所得格差の研究動向	四方理人	貧困研究	14	2015.July
住環境の社会疫学的影響	阪東美智子			
格差感・貧困感研究の動向とその政策含意	浦川邦夫			
*実践としての・科学としての社会福祉	訓覇法子, 田澤あけみ著	法律文化社		2014.3
<b>11. 職業教育・能力開発・労働教育</b>				
特集「高等教育段階における職業教育」		産業教育学研究	46-1	2016.1
実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会審議の状況（シンポジウム）	寺田盛紀			
専門学校における職業実践専門課程の実践と課題（シンポジウム）	岡本比呂志			
国民を幸せにする職業訓練	篠田徹	電機連合 NAVI	57	2015 秋冬合併号
大学におけるキャリア教育に対する批判について	安藤りか	名古屋学院大学 論集 社会科学篇 (名古屋学院大)	52-1	2015.7
<b>12. 社会運動論</b>				
*原発をとめるアジアのんびと	ノーニュークス・アジアフォーラム編著	創史社		2015.12
<b>13. レイズム, 差別</b>				
特集 アイヌ民族問題を考える		人権と部落問題	68-2	2016.2
世界基準のアイヌ政策を求めて	丸山博			
アイヌ人骨返還問題と「民族共生の象徴空間」建設計画について	榎森進			
遺骨と謝罪	殿平善彦			
日本の国は「アイヌ民族に土地をあたえた」か	瀧澤正			
特集 障害者差別解消法施行でどう変わる, 私たちの暮らし		ノーマライゼーション	36-1	2016.1
障害者差別解消法が地域で果たす役割（座談会）	勝連文緒 金政玉 土岐達志 高梨憲司 司会：中西由起子			
スタート地点に立った障害者差別解消法	太田修平			
「合理的な配慮」理解推進のための調査	光岡芳宏			
誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる条例の仙台から見た“仙台市差別禁止条例（仮称）”の顛末報告	杉山裕信			
特集 差別禁止法の制定に向けた論点整理		部落解放研究	204	2016.3
禁止規定の担保措置について規定するかどうか	金尚均			
禁止規定の担保措置として刑罰を規定すべきか	櫻庭総			

## II 労働問題

<b>20. 総記</b>				
一人ひとりが活き活きと働ける社会を目指して	連合総研	連合総研レポート DIO	309	2015.11
特集 これからの生産性の高い働き方を考える		情報誌ワークライフ	010	2015.6
『働き方改革』の現状と課題 1 ——生産性の高い働き方とは	山本勲			
『働き方改革』の現状と課題 2 ——労働法制の展開から働き方改革を	水町勇一郎			
人事制度だけを変えるのではなく, 働き方や雇用のあり方の再考を（インタビュー）	東狐貴一			

特集 雇用・労働の質と地域との協働		労働の科学	70-7	2015.7
地域の連携が生む良質な雇用と地域産業の活性化	間藤雅夫			
地域に仕事と雇用を生み出す自立支援事業	櫛部武俊			
雇用と地域との協働における労働組合の役割	麻生裕子			
災害復旧・復興期の被災者雇用	永松伸吾			
老壮青の三世代が揃った青春企業を目指す	関根一成			
* 福島原発作業員の記	池田実著	八月書館		2016.3
<b>21. 雇用・労働市場</b>				
特集 地域の人材定着につなぐ労働の質		連合総研レポートDIO	309	2015.11
地場中小企業の人材確保・定着・育成	川喜多喬			
地域の人材定着に役立つ公契約の規整	吉村臨兵			
福井県の事例から考える地域における女性雇用	金井郁			
特集 中小企業における人材の採用と定着——ミスマッチの解消に向けて		ビジネス・リーダー・トレンド	485	2015.8
中途採用は「育成・潜在能力」より「即戦力として」採用する傾向	中村良二			
三社に一社が高度熟練技能を自社の強みと認識	郡司正人			
<b>22. 労働条件</b>				
特集 誰もが活き活き働ける環境づくり——働き方のイノベーションを目指して		月刊経団連	63-8	2015.8
労働時間の削減	篠田和久			
野村グループにおける多様化への取り組み	永井浩二			
女性活躍推進	斉之平伸一			
研究・技術開発者の働き方・処遇について	柳井克之			
誤解の多いダイバーシティ経営	佐藤博樹			
長時間労働防止、健康経営のための労働時間管理	木下潮音			
<b>23. 賃金問題</b>				
特集 公務員のお給料		KOKKO	6	2016.2
日本の公務員賃金	早川征一郎			
国家公務員の賃金・年金はどうなっている？	鎌田一			
報酬を「地位」「習熟」「成果」「功労」の観点で整理	田中博志	先見労務管理	1527	2015.12.25
「決済期間」という観点から報酬を考える	田中博志	先見労務管理	1529	2016.1.25
定額残業代制度をめぐる諸課題	向井蘭、瀬戸賀司	労働経済春秋	11	2016.1
特集 最低賃金の今		労働調査	544	2015.8
最低賃金制度の現状と課題	藤村博之			
最低賃金に対する連合の取り組み	須田孝			
法定電機最低賃金制と企業内最低賃金に対する電機連合の取り組み	富樫幸子			
JAMの最低賃金に対する考え方	木住野徹			
雑感・・・欧州の最賃、日本の最賃、非正規、情報労連最賃	石井繁雄			
中央最低賃金審議委員を退任して	田村雅宣			
「時間額1,000円」をめざして	永田重人			
<b>24. 労働時間・ワークライフバランス</b>				
労働時間の認定に関する裁判所の考え方とは？	岸田鑑彦	先見労務管理	1527	2015.12.25
<b>26. 非正規労働</b>				
労働者派遣法の問題点と全労連のたたかいについて	仲野智	社会保障	461	2015.夏
改正労働者派遣法の正しい理解と実務対応	石崎伸憲、小宮純季	労働経済春秋	11	2016.1
改正労働者派遣法と今後の派遣活用・労働者側の視点から	棗一郎	労働法学研究会報	2615	2016.2.15
改正労働者派遣法と派遣先の労組法上の使用者責任（講演）	中野麻美	月刊労委労協	714	2016.2

<b>29. 児童労働</b>				
権利行使の主体者である子どもによるフリー・ザ・チルドレンの活動	中島早苗	ワークアンドライフ世界の労働	2015-3	2015.6
<b>30. 若年労働</b>				
若者雇用促進法	田代英治	先見労務管理	1529	2016.1.25
若者雇用促進法の狙いと背景（インタビュー）	五百旗頭千奈美 聞き手：中村雅人	人材ビジネス	356	2016.3
<b>35. 労災、職業病、健康問題</b>				
Working conditions and occupational accidents of informal workers in Bangkok, Thailand	Sara ARPHORN, Tomohiro ISHIMARU, Kodchapan NOOCHANA, Sirisak BUACHUM, Toru YOSHIKAWA	労働科学	90-5	2014.10
<b>36. ハラスメント</b>				
職場のハラスメントの有無と心理的ストレス諸要因との関連	永富陽子	大阪経大論集(大阪経済大)	66-4	2015.11
人事労務担当者のためのハラスメント防止策について	山浦美紀	人事管理 REPORT	53-11	2016.2
<b>37. 勤労者意識</b>				
就業が起業意識の変化に及ぼす影響	井上考二	日本政策金融公庫論集	30	2016.2
<b>39. 福祉労働・ケア労働</b>				
特集 高齢者の生活を支える地域ケア		統計	66-10	2015.10
医療・介護の一体的な提供に関する現状と課題	三原岳			
高齢者の生活を支える地域ケアと住まい	中田裕人			
地域包括ケアからケアする社会へ	中野智紀			
超高齢社会に向けた政策への展開	木全真理			
セカンドライフの就労を支援するモデル開発	前田展弘	統計	30-36	2015.1

### III 労働運動

<b>41. 労働組合・運動論</b>				
特集 公共性と日本の労働組合		国際経済労働研究	1057	2016.2
公共性と日本の労働組合（講演）	大芝亮			
2016 春季生活闘争方針（インタビュー）	神津里季生			
明日の組合政治活動のために（その一）	篠田徹			
<b>46. 賃金闘争（含 生活改善闘争）</b>				
一六春闘にむけて	篠田徹	連合総研レポートDIO	309	2015.11
特集 2015 春闘 成果と今後の課題（前編）		国際経済労働研究	1052	2015.8
「人への投資」と2015年春闘	上田眞士			
2015 春季生活闘争の成果と課題について	須田孝			
特集 2016 春闘の課題		労働調査	549	2016.2
賃上げのマクロ経済学	脇田茂			

<b>53. 労働組合と社会問題, 社会運動</b>				
特集 労働組合と社会的活動		労働の科学	70-6	2015.6
労働と生活の接合点を求めて	山崎憲			
労働運動の社会的役割発揮のために系統的な人材育成の推進を	山本幸司			
自治労自治研活動を通じて見出す地域包括ケアシステム構築の手法	西村健二			
地域の仲間と取り組むアスベスト被災住民の救済と協働	松原保			
社会人と学生の交流の場で考える「働くこと」	宮原千枝			
連合東京「ボランティアサポートチーム (VST)」の研修と活動	近藤泰志			

IV 経営労務

<b>64. 定年制, 退職金, 企業年金</b>				
特集 公的年金の運用について		年金と経済	34-2	2015.7
基本ポートフォリオ変更に関する解説	米澤康博			
矛盾が多い公的年金積立金のリスク運用	田中秀明			
被用者年金一元化と共済年金運用への影響	高松博之			
公的年金ポートフォリオにおけるベンチマーク多様化と分散投資の深化	内誠一郎			
機関投資家のスチュワードシップ責任と ESG 投資	寺山恵			
特集 企業年金を「年金」として受け取るか, 「一時金」で受け取るか		企業年金	437	2016.3
老後経済プランを考えた企業年金の受給	大江英樹			
企業年金を資産蓄積手段として再評価する	徳島勝幸			
企業年金は年金, 一時金, どちらで受け取るべきか?	中林宏信			
<b>65. 福利厚生</b>				
企業福祉の新動向と従業員価値	石田成則	週刊社会保障	2837	2015.8.10
<b>66. 教育・訓練</b>				
特集 鍵は壁を乗り越える力 グローバルに活躍できる新人・若手育成		人材教育	319	2015.7
鍵はコミュニケーションレベルの違い	ブライアン・シャーマン			
特別扱いのない海外経験のすすめ	芦沢真五			
アジアに駐在させる前に可能なメンタル・サポート具体策	渡部卓			
特集 実践で磨くリーダーシップ		企業と人材	1030	2015.8
8つの機能でとらえるリーダーシップ醸成	酒井正剛, 三吉亜希子			
立命館アジア太平洋大学 (APU) の環境を活用したグローバル人材育成 (後編)	平田未緒			
特集 実務につなげる中堅社員教育		企業と人材	1037	2016.3
中堅社員に期待される役割と教育のあり方	石川文香			
ブリヂストン	小林信一			
住友電装	北井弘			
NTT コムウェア	中田正則			
大日本印刷	江頭紀子			
特集 健康人材こそ企業価値の源泉		人材教育	326	2016.2
生産性を取り戻す 人的資本投資としての健康経営	尾形裕也			
何が長期休業率を上げるのか? 数字が語る“要因”	河野敏鑑			
社員の「満足感」「達成感」を高める“具体策”	廣川明子			

<b>68. 安全衛生管理</b>				
労働安全衛生法の歩みと今後の展望	木村嘉勝	労働経済春秋	11	2016.1
<b>69-2. 高齢者雇用</b>				
特集 高齢期まで働くための治療と就労の両立		エルダー	37-9	2015.9
がん治療と就労の両立をめぐる現状と課題	平岡晃			
がんから職場への復帰のために、職場がなすべきこと	立石清一郎			

## V 労働・社会政策

<b>70. 総記</b>				
「働・学・研」融合型の持続可能な産業・地域づくり	十名直喜	名古屋学院大学 論集 社会科学篇 (名古屋学院大)	52-3	2016.1
*「再国民化」に揺らぐヨーロッパ	高橋進, 石田徹編	法律文化社		2016.3
*リアル・デモクラシー	宮本太郎, 山口二郎 編	岩波書店		2016.1
*大学図書館専門職員の歴史	利根川樹美子著	勁草書房		2016.1
*包摂都市を構想する	全泓奎編	法律文化社		2016.3
*介護漂流	山口道宏編著	現代書館		2016.4
<b>76. 社会保障政策</b>				
第11次へき地保健医療計画の検証	森田喜紀, 梶井英治	社会保険旬報	2607	2015.6.21
データヘルズ計画の特徴と課題 7	岡山明	社会保険旬報	2608	2015.7.1
特集 安倍医療「改革」の内容とねらい		社会保障	461	2015. 夏
医療保険制度改革関連法の国会論議と今後の課題	名嘉圭太			
社会福祉法等の改正にみる社会保障の行方	山崎光弘			
再生医療は成長産業となるか?	川渕孝一	週刊社会保障	2831	2015.6.29
ドイツにおける障害者政策の新展開	小西啓文	週刊社会保障	2831	2015.6.29
高齢化率40%時の国民負担率推計を!	江口隆裕	週刊社会保障	2832	2015.7.6
障害年金の法的問題	福島豪	週刊社会保障	2832	2015.7.6
社会保険方式を基本として将来に引き継がれる社会保障を (座談会)	宮武剛 山崎泰彦 原勝則	週刊社会保障	2856	2016.1.4 新春特別
社会保障における家族の評価	田中耕太郎	週刊社会保障	2856	2016.1.4 新春特別
問われる医療再編と健康施策	大道久	週刊社会保障	2857	2016.1.11
スイスの医療と医療制度	真野俊樹	週刊社会保障	2857	2016.1.11
立法裁量の法的統制	菊池馨実	週刊社会保障	2858	2016.1.18
社会保障制度をどうとらえるか	田多英範	週刊社会保障	2858	2016.1.18
「無届け介護ハウス」を考える	増田雅暢	週刊社会保障	2859	2016.1.25
特集 社会保障の変質・解体に対抗する		月刊保団連	1202	2016.2
医療・介護の一体的見直しに対抗する	横山壽一			
社会保障としての国民健康保険を守るために	寺内順子			
患者負担増大による患者家族への影響	高本久			
憲法と人権としての社会保障・生活保護	井上英夫			
政策形成・決定プロセスへの市民参加——「一万人市民委 員会」の誕生と「福祉自治体ユニット」の結成	介護保険制度史研究 会	社会保険旬報	2609	2015.7.11
DPCと日本の病院医療の変革	田中耕太郎	週刊社会保障	2835	2015.7.27
行政による24時間の張り付き調査が行われたものの24時 間介護保障を勝ち取った事案	國府朋江	賃金と社会保障	1639・ 1640	2015.8月 合併号



ブラジルの社会保障訴訟	鳥村暁代	信州大学法学論集(信州大)	26	2015.7
介護保険制度改正とこれからの課題・展望(鼎談)	上田智也 東内京一 司会:松本均	介護保険情報	16-10	2016.1
日本と韓国の介護保険制度(対談)	金道勲 松本均 司会・兼通訳:崔太子	介護保険情報	16-10	2016.1
実効性のある地域医療構想策定を目指して	松田晋哉	社会保険旬報	2626	2016.1.1
医薬分業の過去, 現在, 将来	漆畑稔	社会保険旬報	2628	2016.1.21
特集「介護」——12.20 医療・介護集会から				
介護保険制度をめぐる情勢	林泰則	社会保障	465	2016. 春
新総合事業の状況と運動課題	日下部雅喜			
地域医療を守る運動を全県から	新家忠文			
始動する医療提供再編に向けた取り組み	大道久	週刊社会保障	2836	2015.8.3
横浜市の待機児童ゼロの達成への取り組みとその後	前田正子	週刊社会保障	2836	2015.8.3
骨太方針 2015 と社会保障	菊池馨実	週刊社会保障	2837	2015.8.10
本体改定分を「まちなか集積」に!?	川渕孝一	週刊社会保障	2862	2016.2.15
ドイツの最低生活保障と就労支援	田畑洋一	週刊社会保障	2862	2016.2.15
2016 年度診療報酬改定答申	武藤正樹	週刊社会保障	2864	2016.2.29
NHS 改革と競争政策	石田道彦	週刊社会保障	2864	2016.2.29
特集「骨太の方針 2015」をどう読むか				
「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針) 2015」から読み解く構造改革の現段階	川上哲	賃金と社会保障	1643	2015.10 月上旬
社会保障・税一体改革から経済・財政一体改革へ	伊藤周平			
ドイツの最低生活保障基準決定とその検証の在り方をめぐる違憲判決とその後(講演)	ヨハネス・ミュンダー 訳:嶋田佳広	貧困研究	14	2015.July
借り上げ仮設住宅から住宅手当へ	岩永理恵	貧困研究	14	2015.July
<b>77. 社会福祉・貧困・就業支援政策</b>				
韓国における子どもの貧困政策の法的検討	藤澤宏樹	大阪経大論集(大阪経済大)	66-4	2015.11
人口の少ない地域における訪問介護ニーズの実態	田口敦子, 吉澤彩, 岩崎昭子, 鈴木順一郎, 永田智子	厚生指標	63-1	2016.1
特集「福祉、ではたらく」				
日本の福祉人材のゆくえ	市川一宏	月刊福祉	98-10	2015.9
人材確保・人材育成をどうすすめるか(座談会)	久木元司 斎藤弘美 湯川智美 進行・コメンテーター: 田島誠一			
社会福祉士の実践フィールドの拡大と新たな活動形態	高良麻子			
介護福祉士の未来像	峯尾武巳			
これからの保育士	寺見陽子			
刑事司法と福祉の連携	土井政和			
特集「介護と就労——「ケアする権利」をめぐる」				
ケアと労働	天田城介	生活経済政策	639	2015.7
男性介護者の仕事と介護を巡る実態と論点	津止正敏			
働きながら親を介護するということ	平山亮			
仕事と介護の両立を可能とする企業の取り組み	矢島洋子			



特集 インクルーシブな社会				
これからの社会のあり方、私たちがめざす社会	小澤温	月刊福祉	99-3	2016.3
障害者自立支援協議会の役割と課題	竹端寛			
インクルーシブな社会をめざすための教育	梅永雄二			
雇用分野における合理的配慮	長谷川珠子			
聴覚障害者の生活を支えるために必要な視点	原順子			
スポーツを誰もが楽しめる社会	藤田紀昭			
ドイツのインクルーシブな社会	森周子			
スウェーデンの障害のある人の生活保障	清原舞			
生活保護費の過少支給の場合の対応と救済方法	稲森公嘉	週刊社会保障	2835	2015.7.27
生活課題を抱える家庭の現状に関する研究	梶原浩介	社会関係研究(熊本学園大)	21-1	2015.12
特集 子どもの貧困の遮断と社会的実践				
子どもとつくる地域(まち)づくり	加藤彰彦	協同の発見	279	2016.2
市民主体の仕事おこし まちづくりと子どもの成長	森田真希			
地域をつなぐ「気まぐれ八百屋だんだん」のこども食堂	近藤博子			
特集 障害者の家族は、今				
いま、障害のある人と家族は	土屋葉	ノーマライゼーション	36-2	2016.2
障害者の家族支援の現状と課題	曾根直樹			
患者さんの光かがやく未来のために魅力ある活動で社会を動かす	本間りえ			
私たちの願う普通の暮らしへ	八木澤恵奈			
特集 いま〈最低生活保障〉を問う：原論・政策・運動の三領域から——貧困研究会第7回研究大会共通論題より				
原論 ナショナルミニマム保障の哲学	堅田香緒里	貧困研究	14	2015.July
政策 政策基準としての生活最低限	岩田正美			
運動 生存権保障をめぐる運動の今	稲葉剛			
第二のセーフティネットにおいて受け止める生活困窮とは	森川美絵、阪東美智子			
<b>78. 労働法・社会保障法</b>				
企業に求められる有期雇用対策——無期転換権・均等待遇への対応	木下潮音	労働法学研究会報	2600	2015.7.1
<b>79. 労働判例・社会保障判例</b>				
ひまわりの会事件	東京地方裁判所	別冊中央労働時報	1490	2016.1
環境施設ほか事件	福岡地方裁判所	労働判例	1111	2015.6.15
WILLER EXPRESS 西日本事件	大阪地方裁判所	労働判例	1111	2015.6.15
国・島田労基署長(生科検)事件	東京高等裁判所	労働判例	1111	2015.6.15
とうかつ中央農協事件	東京高等裁判所	労働判例	1111	2015.6.15
労働者からの情報取得と法的諸問題	峰隆之	労働法学研究会報	2600	2015.7.1
特集 最新生活保護判例2題				
生活保護受給者の訴訟救助の申立	常岡久寿雄	賃金と社会保障	1637	2015.7月上旬
大学受験費用等に当てられた高校生のアルバイト収入の未申告を不正受給として生活保護法78条を適用した処分が取り消された事例	石坂想			
管理職による性的な発言等のセクハラと懲戒処分	山崎文夫	労働法律旬報	1843	2015.7月上旬

海遊館（懲戒処分）事件・最高裁判所第一小法廷判決		労働法律旬報	1843	2015.7月 上旬
横領の事実はなく予告のない解雇は違法	清水弥生	先見労務管理	1528	2016.1.10
北海道児童自立支援施設・性的暴行事件		賃金と社会保障	1639・ 1640	2015.8月 合併号
大阪府事件		別冊中央労働時報	1482	2015.8
フォーカスシステムズ事件	最高裁判所	労働判例	1114	2015.8.1・ 15
大分県・県教委（公立学校教員）事件	大分地方裁判所	労働判例	1114	2015.8.1・ 15
国際自動車事件	東京地方裁判所	労働判例	1114	2015.8.1・ 15
大阪市・市交通局長（入れ墨調査）事件	大阪地方裁判所	労働判例	1114	2015.8.1・ 15
三菱重工業（下関造船所・じん肺）事件	広島高等裁判所	労働判例	1114	2015.8.1・ 15
ヒューマンコンサルティングほか事件	横浜地方裁判所	労働判例	1114	2015.8.1・ 15
アールエス興業事件	横浜地方裁判所川崎 支部	労働判例	1125	2016.2.15
地公災基金大阪府支部長（市立中学校教諭）事件	大阪高等裁判所	労働判例	1125	2016.2.15
国・天満労基署長（寿司田）事件	大阪高等裁判所	労働判例	1125	2016.2.15
ソクハイ事件	東京地方裁判所	別冊中央労働時報	1491	2016.2
<b>80. 労働委員会</b>				
日東興産事件		別冊中央労働時報	1490	2016.1
アスベスト（石綿）にばく露した経歴を持つ退職労働者の 団体交渉権	柳澤旭	山口経済学雑誌 （山口大）	64-3・ 4	2015.11
「不利益取扱い」の不当労働行為とは？	大内伸哉	中央労働時報	1194	2015.8
ヤンマー不当労働行為再審査事件		中央労働時報	1194	2015.8
大阪府（教育合同）事件		別冊中央労働時報	1482	2015.8
日本放送協会水戸放送局事件		別冊中央労働時報	1482	2015.8
特集 制度発足70年・労働委員会制度を考える				
戦後期における労働委員会と労使関係：偉大なる調停者の時代	仁田道夫	季刊労働法	252	2016.春
労働委員会制度の現状と課題	諏訪康雄			
不当労働行為法理の課題	道幸哲也			
個別労働関係紛争に対する労働委員会のあっせん	野田進			
労働委員会制度に未来はあるか？	大内伸哉			
フランチャイズ・コンビニ店長の労組法上の労働者性について	大山盛義	月刊労委労協	714	2016.2
三軌工業事件		別冊中央労働時報	1491	2016.2
大阪市（組合事務所貸与）事件		別冊中央労働時報	1491	2016.2

## VI 世界労働

99. ILO, 国際機関				
特集 第104回ILO総会特集		ワークアンドライフ世界の労働	2015-4	2015.8
インフォーマルからフォーマル経済への移行に関する勧告を採択	伊古田隆一			
中小企業とディーセントかつ生産的な雇用の創出について	野村良寿			

## VII 歴史

100. 総記				
* 占領期の日本	テレーズ・スヴォボダ著, 奥田暁子訳	ひろしま女性学研究所		2011.7
* 地蔵の記憶	清水顕撮影	ひろしま女性学研究所		2013.5
* 日本はなぜ核を手放せないのか	太田昌克著	岩波書店		2015.9
101. 生活・労働史 (日本)				
* 鉄と石炭と女	石井出かづ子著	ひろしま女性学研究所		2013.3
* 尾道学寮物語	尾道学寮物語刊行委員会編	家族社		1998.11
* 水主町官有103番地が消えた日	河合藤子編著	家族社		1998.7
* 学校が火事にでもならんかいな	井上浴著	家族社		1987.6
* 生きることに心せき	佐野文夫著	吉田愛一郎発行		2016.4
* 故加藤虎之助追悼墓前祭の記録	柏木功編			2015.7
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (日本)				
ジェンダー平等の思想と戦後第二の文化変容	広岡守穂	法学新報 (中央大)	122-3・4	2015.8
* 女性史からみた岩国米軍基地	藤目ゆき著	ひろしま女性学研究所		2010.1
104. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (外国・国際)				
特集 ヴィクトリア朝の「牧師館の娘」を考える—Midori Yamaguchi, Daughters of the Anglican Clergy: Religion, Gender and Identity in Victorian England をめぐって		女性とジェンダーの歴史	3	2015.11
19世紀の宗教的家族企業の娘たちの葛藤と模索	浮岳靖子			
『国教会牧師の娘たち』の魅力	金澤周作			
牧師館の女性たちの自己実現	市川千恵子			
「ショーケース」のなかの人生	山口みどり			
105. 社会福祉史				
施設数減少からみた母子生活支援施設の研究と実践の課題	武藤敦士	立命館産業社会論集 (立命館大)	51-3	2015.12
106. 社会・労働政策史 (日本)				
渋沢栄一の福利厚生体験	森田慎二郎	週刊社会保障	2859	2016.1.25
112. 諸社会運動史				
特集 普通選挙と部落問題		部落解放研究	204	2016.3
帝国議会と融和問題研究会	本郷浩二			
労働農民党の政策課題としての部落問題	吉田文茂			
普通選挙と香川県水平社	山下隆章			
松阪市会議員としての上田音市	廣岡浄進			
部落差別撤廃運動と政治参加	井岡康時			